

Kyoto Print
Exhibition

KYOTO版画

21

Winter
2015



Kyoto Print Exhibition Executive Committee

Newsletter



Etching, Hand colouring, H 53.5×W 39cm, 2013

Nobuko Takai "ジャッカ"



Woodcut, H 30×W 25cm, 2012

Chiaki "今日の挨拶"

■ 揭示板

■ 活動報告

特集
福祉とアート
取材に行ってきました
西住 恵子

高井
千明
信子

日本・オーストラリア
国際版画二〇一四
奨励賞・受賞作家

作家紹介



獎励賞

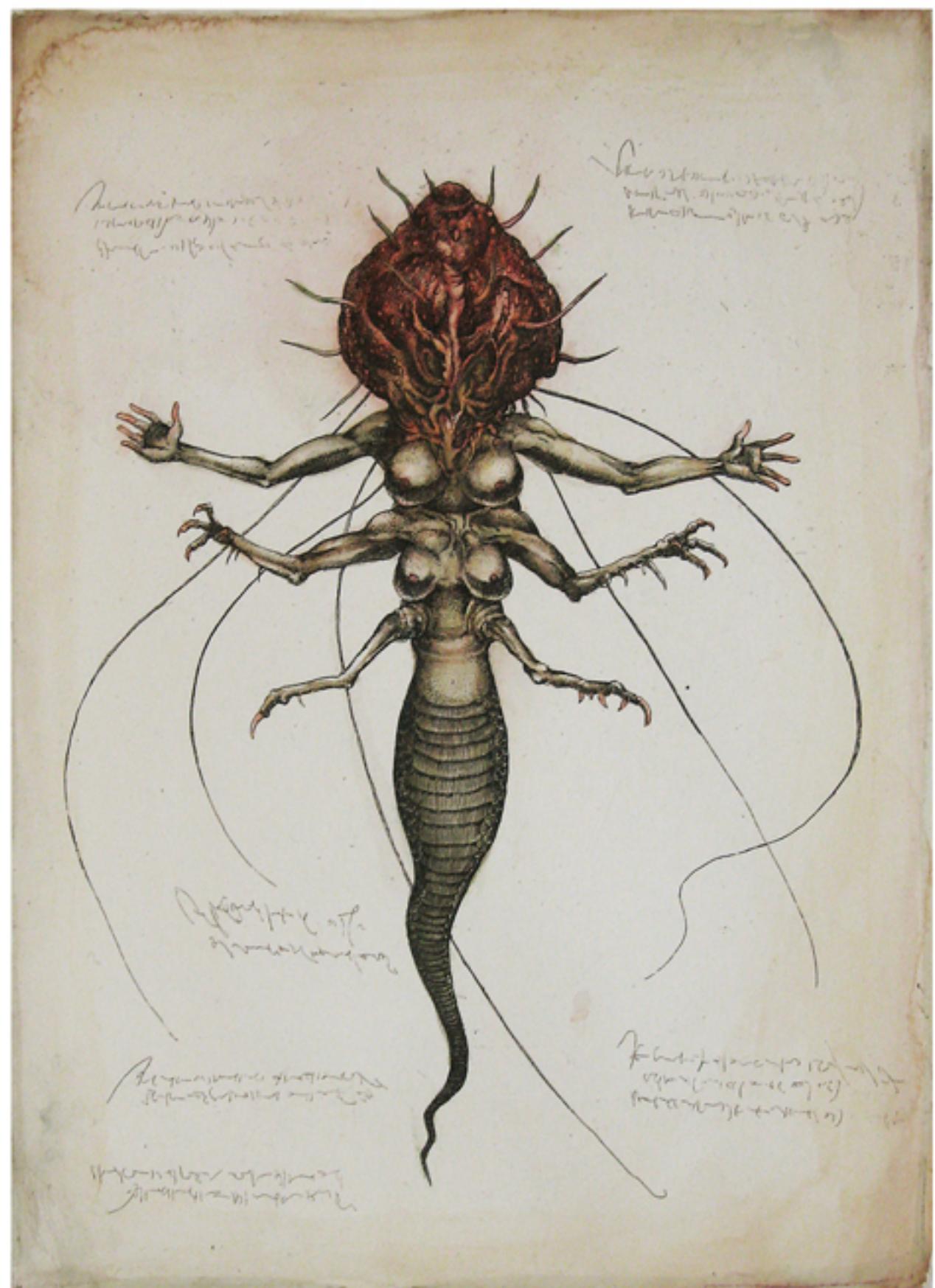
銅版画
高井 信子
Nobuko Takai

'88 新潟生まれ
'13 京都造形芸術大学大学院
芸術表現専攻修了
'11 第79回版画展入選
'14 版画の魅力展vol.2
日本・オーストラリア国際版画展奨励賞
'15 日本・オーストラリア国際版画展奨励賞
受賞者展

□ 今後の夢
これまで連作として架空の生物を図版的なイメージで作り続けており、いずれ一冊の本としてまとめたいです。

□ 作品制作の中でもっと大切だと考えている事
多様な表現の中においても、自分の根源、土台となるものを大切にし、そしてその純度を高めていく事だと考えています。

□ 版画制作を始めたきっかけ
大学二回生の時にドライポイントを体験する機会があり、今までにない楽しさと自分の表現との相性に手応えを感じました。そして三回生で版画コースに進み、そこで自分の作品制作において最も適したと感じるエッチングと出会い、本格的に版画での制作を始めました。



「いちごむし」
縦 21X横 15 センチ／エッチング・手彩色／2015

獎励賞

木版画
千 明
Chiaki

'83 兵庫県生まれ
京都精華大学芸術学部造形学科
版画専攻卒業
'12 個展 「日暮らし」 ギャラリーヒルゲート
'14 第82回日本版画協会展 準会員推挙
日本・オーストラリア国際版画展奨励賞
'15 日本・オーストラリア国際版画展奨励賞
受賞者展



私は、木版画の魅力は面の美しさだと思っていて、だから具体的な形はできるだけ出さないようにしてます。具体的なものを描いてはいるんですけど、ペタ刷りとごま刷りのバランスをうまく調整しながら、その上で、できるだけ難しい構成、難しい配色を心がけています。どうして成立しているのかわからぬけど、なんだかとても良い！みたいな絵を作るのが理想です。

小説を読んだり、実際に自分で散文を描いたりするのが好きなぜいか、作品になるのは小説の一文のような、映画のワンシーンのような、わたしの日常です。大学を出てすぐの頃は、建物とか、古い本とか、布とかをモチーフにすることが多くつたんですが、最近は人物を描くことが多くなってきました。五年前から障がいを持つた子ども達に美術を教えてるんですけど、人物をモチーフにすることが多くなったのはそのせいかもしれません。いつか子ども達との学校での生活を小説にしてみたいなあと、最近ぼんやり考えています。

小さい頃から画家になりたいと思っていましたが、自分の技量では無理だとも思っていました。幾つになつても諦めきれずに、結局芸大に行くことを決めて絵を勉強し始めたのが十五歳の時です。大学の学部は本当なら洋画に行きたかったのですが、やっぱり自信もないし、どうしよう？と考えたときに版画科なら色々な技術が学べると聞いて少し興味が湧きました。また、色々な作家の画集を見ていて、版画もやっていた画家が多いこと気付きました。カンディンスキイが初期に作った木版画、この頃から好きでした。当時、自分の周りに大学に行かずには絵を描いている人もいたから、どうせ大学に行くなら技術を学ぼうと思い、版画専攻に進むことにしました。あと、本当に画家として成功した人を生で見てみたかったんです。だから精華大学の版画に行って黒崎彰に学ぶぞ！と思つて、そのまま木版ゼミに入つて、今も木版画をやっています。



「生きる」 縦 65X横 98 センチ／木版／2013

取材に
行ってきました

文・写真
西住 恵子



CASE1
斎 藤
きよ様

元々、編み物が好きで絵を描いたことはなく、初めてフロッタージュを創った時は緊張して、どうやつたらよいか、どの色を選んでよいのかわからず、吉元さんと相談しながら制作し、作品が出来上がった時は、出来栄えはどうであれ、顔が赤くなるほど嬉しかったそうです。ヒレとシップがこだわりのお魚の版。吉元さんに「変わった形の方が面白いよ」とアドバイスを受け、思い切ってギザギザの形にしたそうです。

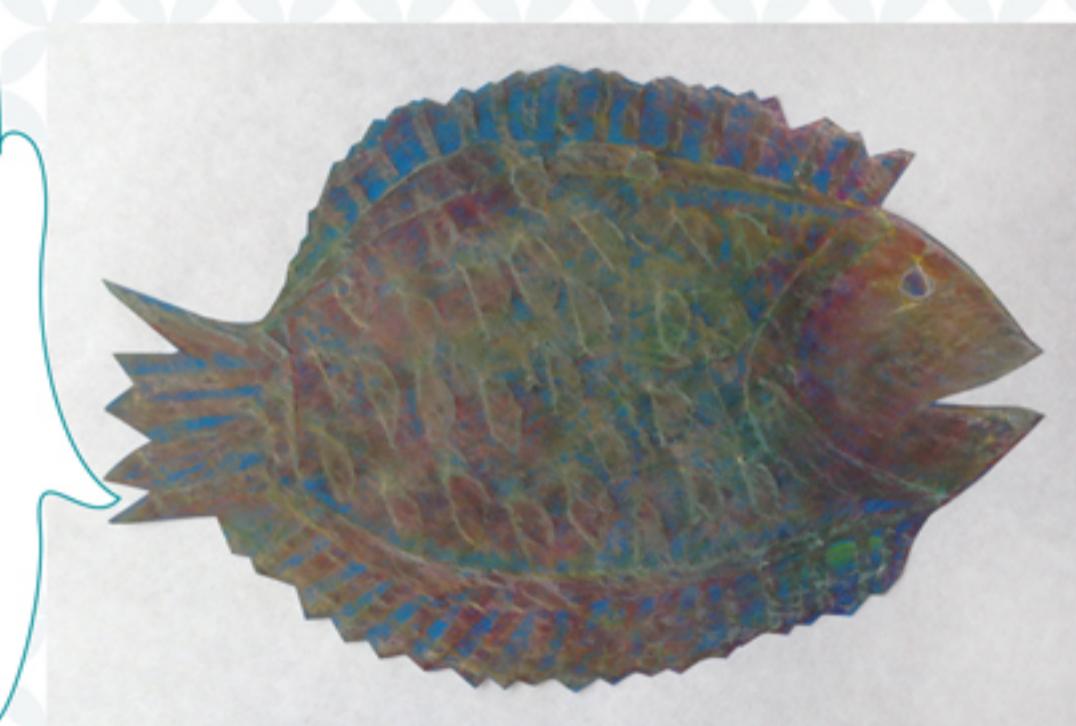
How To Make Frottage.



お魚の版に青い色紙を置き、色鉛筆でこります。どんな色を使うか悩みつつもどんどん色を重ねていき、とても集中しています。



いい色になったと思う。出来上がって、これが自分で作った作品だと思うと嬉しくなる！



最後は、吉元さんに周りを切り取ってもらい、紙に貼って完成！やわらかく、温かみと深みのあるお魚になりました。

Washi-Chigiri-e



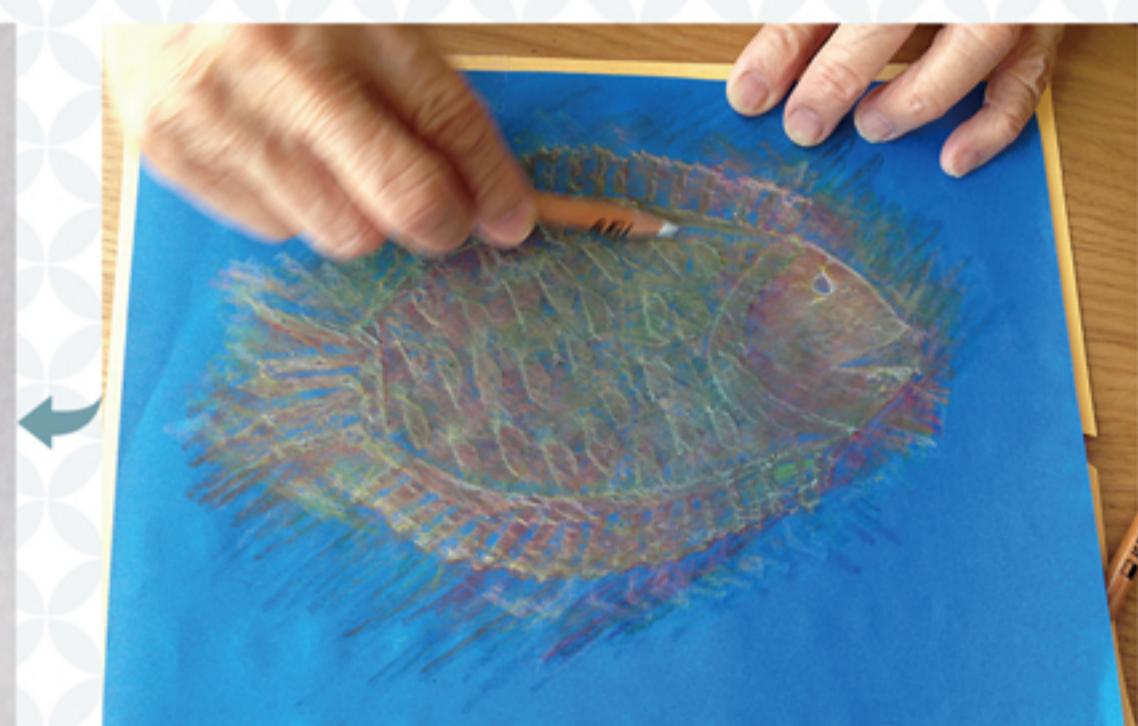
この、ちぎり絵は二週間ほどかけて作った大作！ とても九三歳とは思えない集中力です。

当委員会のメンバーである吉元光生さんが勤めている福祉施設の「花友しらかわ」さんに取材に行つきました。そこでは、吉元さんの案で利用者さんが、画用紙などで版を作り、その上に、半紙や色紙をのせて色鉛筆でこする、フロッタージュで作品を創っていました。

絵を描いているテーブルには活気があり、お互い褒めあつたりなど笑顔が絶えない雰囲気に私も笑顔になりました。スタッフの鴨野さんに福祉に芸術の必要性を感じるかとお聞きしたところ、「言葉で上手く話せなかつたり、感情を表現できなくとも、画用紙に向かって何かを描き、表現することは自分から発信して伝える方法の一つであり、自己実現の一つでもある。描くこと、創ることによって認知症の改善につながつたりと、福祉に芸術の必要性を感じる。」と話してくださいました。

吉元さんは絵を描いたことがない人や握力がなくて”描く”という行為が難しい人でも、少し手を動かすだけで創れるものをと思い、フロッタージュを始めたそうです。他にも描いた絵の上にチラシをちぎって貼りつけてコラージュの作品を創ったり、線と丸だけで画面を埋めるという決まったルールで作品を創つてもらうなど、「誰でも、どんな人でもできる」をテーマにいろいろとレクリエーションを考えているそうです。

吉元さんが勤める前までは塗り絵が主で、芸術系の大学を卒業した吉元さんだからこそ、大学で学んできた知識を生かし、いろんなバリエーションのレクリエーションができたのだと思います。今回の訪問で、福祉には芸術が必要だということ、そして芸術の大作として、福祉での芸術の活動がもっと広まればと強く感じました。



ここ（花友しらかわ）に来た
ら、1～2時間は何かを創る
というクセをつけている。



CASE2
宮 照
崎 様

こちらは蝶のフロッタージュ。蝶の版はあらかじめ吉元さんが用意したものの、色はオレンジと赤と紫のみ。「お好きな色なんですか？」という問い合わせ、「好きということはないけど、なんとなくね。」と答えていましたが、とても綺麗な蝶の作品になりました。そして、なんとこの蝶の作品を私にプレゼントしてくれました！本当にありがとうございます！

活動報告

展覧会名：日本・オーストラリア 国際版画展 奨励賞 受賞者展 vol.1
千明 個展 “ラブレター”
日 時：2015年3月24日（火）～29日（日）
会 場：ギャラリーヒルゲート
会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町535

前回の個展から2年ぶりの展示でしたが、前回以上にたくさんの方に来て頂き、また作品を購入して頂けたことが何よりでした。ギャラリーのオーナーである人見さんからは、「受賞のお祝いに」とパーティーまで開いて頂き、申し訳ないやら嬉しいやらで、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。前回の個展で私を知って下さった方々との嬉しい再会などもあり、あっと言う間の5日間でした。

文：千明／写真撮影：涼川めぐみ



展覧会名：日本・オーストラリア 国際版画展 奨励賞 受賞者展 vol.2
高井 信子 個展
日 時：2015年5月12日（火）～17日（日）
会 場：ギャラリーヒルゲート
会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町535

何年かぶりの個展という事で緊張しました。開催してみていろいろと反省点もありますが、自分の作品と表現方法については手応えを感じることができました。この度はこのような機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

文：高井信子／写真撮影：ギャラリーヒルゲート スタッフ



日本・カナダ 国際版画展

開催日決定

International Print Exhibition,
Canada and Japan 2016

2016年10月4日(火)～10月16日(日)
京都市美術館

午前9時～午後5時 月曜休館
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124(岡崎公園内)

2016年10月22日(土)～10月30日(日)※予定
徳島県立21世紀館(多目的活動室)
+徳島県立近代美術館ギャラリー
〒770-8070 徳島市八万町向寺山文化の森総合公園内



Relaunch of Our Website!

ホームページのリニューアルに伴い、ウェブアドレスが変わりました。

<http://www.kyotohanga.com>

掲示板

会報にお寄せいただいた版画京都展実行委員会メンバーの展覧会情報です。
詳細は各会場へお問い合わせください。

●松岡 恵子
<個展 | 松岡 恵子 個展 版画 油彩画 篆刻>
会期：2015年11月5日～11月10日
会場：ギャラリ-尋屋
〒460-0008 名古屋市中区栄3-31-3
コンフォレスト尋屋ビル5F
TEL：052-262-6800

●武田 あづみ
<個展 | 武田 あづみ 銅版画展>
会期：2015年11月13日～11月29日
会場：京都・アートゾーン神楽岡
〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町4
TEL：075-754-0155

●濱本 澄江
<個展 | 濱本澄江版画展
「見えぬものとの対話-mus e-」>
会期：2016年5月16日～5月21日
会場：シロタ画廊
〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-8
TEL：03-3572-7971

お詫び

2015年9月発行予定のPANN秋号(第21号)ですが、誌面デザインの変更の為、12月発行冬号となりました。また、今年度は年1回の発行となります。みなさまに大変ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございません。

会報係一同



発行：版画京都展実行委員会 (KYOTO版画)
問い合わせ：075-702-5142
会報係：西住恵子、謝敷ゆうり、ツツミアスカ
取材協力：花友しらかわ (福祉施設)

